

【ジングルコーナー原稿102】

『言霊綴りの縛り刻（とき）』

作：サイトウヤスナリ

○登場人物

綴り（つづり）

女性。言葉に力を宿す霊能力者。

理屈っぽく、どこか飄々としている。

縛（しばり）

女性。過去の因縁に囚われた地縛霊。

皮肉を皮肉で返すタイプ。余裕たつぷりのお姉さん口調。

○タイトルコール

綴り　ここからジングルコーナーの時間だな。

縛　タイトルは「言霊綴りの縛り刻」ですわ。

○本編

綴り　ふーむ、今日のお相手は、一筋縄ではいかない、か。

縛　縄だなんて、わたくし、縛られてしまいますの？　綴りさん。

綴り　おや、私のことを知っているのか。それは光栄だ。

縛　お噂はかねがね。

綴り　それなら私が縛るではなく、綴る者であることも知っているだろう？

縛　噂というのは、存外当てにならないものです。

先ほどまでの質問攻めは、まるで縛りプレイのようでしたわ。

綴り　私としたことが、いやはや失礼した。

縛 感心した次第でございます。

それにしても、随分と手慣れたものですね。

もはや芸の域に達しているのでは？

綴り どんなものでも、突き詰めれば芸術。それが私の持論でね。

縛 それでしたら、この場に留まるわたくしも、

芸術ではありませんこと？ 地縛霊は執着の極みですから。

綴り はは、上手いことを言うじゃないか。

しづといとは、君のような存在のことを言うのだろうか。

縛 ご存知です？ しづといの語源は、“縛る”と“共に”で縛共（しばとい）。

わたくしはこの地に縛られたまま、あなたと共に言葉を交わす。

あら、これはもう運命ではなくって？

綴り 私は捻くれ者でね。運命を信じない質なのだよ。

それに、しづといの語源は、“死に、太い”で、しにづとい、

という一説が有力だったはずだが？

縛 ふふ、流石です。ああ、わたくし、とっても楽しいですわ。

このまま、とこしえに語り合いませんこと？

綴り 素敵なお誘いだが、生憎と私は綴る者。

物語を紡ぎ、繋ぎ、そして流れを生み出す存在なのだよ。

縛 ですが、言葉は留まるものでもありませんよ？

想いが残る限り、人は言葉を手放せない。

まるで、あの日の言葉に縛られ続ける、わたくしのように。

綴り 留まることを望む者は、自分が縛られていることに気づくまい。

“縛り”を“綴り”直すのも、私の役目さ。

縛 ……そう。ならば、あなたに託しても良いのかしら？

綴り うむ。しばしの語らいは心地よかったが、

ここで句点を打たせてもらおうか。

縛 あなたに言われると、本当に一区切りの気がしますわ。

綴り 言霊とは、元来そういうものだからな。

だからこそ、私は最後まで丁寧に綴るのだ。

縛 ふふ、楽しかったですわ。また、どこかで。

綴り （除霊を終え）……それは御免被るね。

○エンディング

縛 竹内順子のTake a Chanceラジオ！

綴り 響ラジオステーションで好評配信中

縛役、〇〇と、

綴り役、〇〇がお送りしました！